

※下線・色付き文字は、『れきナビ』の記事等へリンクしています。

八潮市沿革図(近世以降)

近世

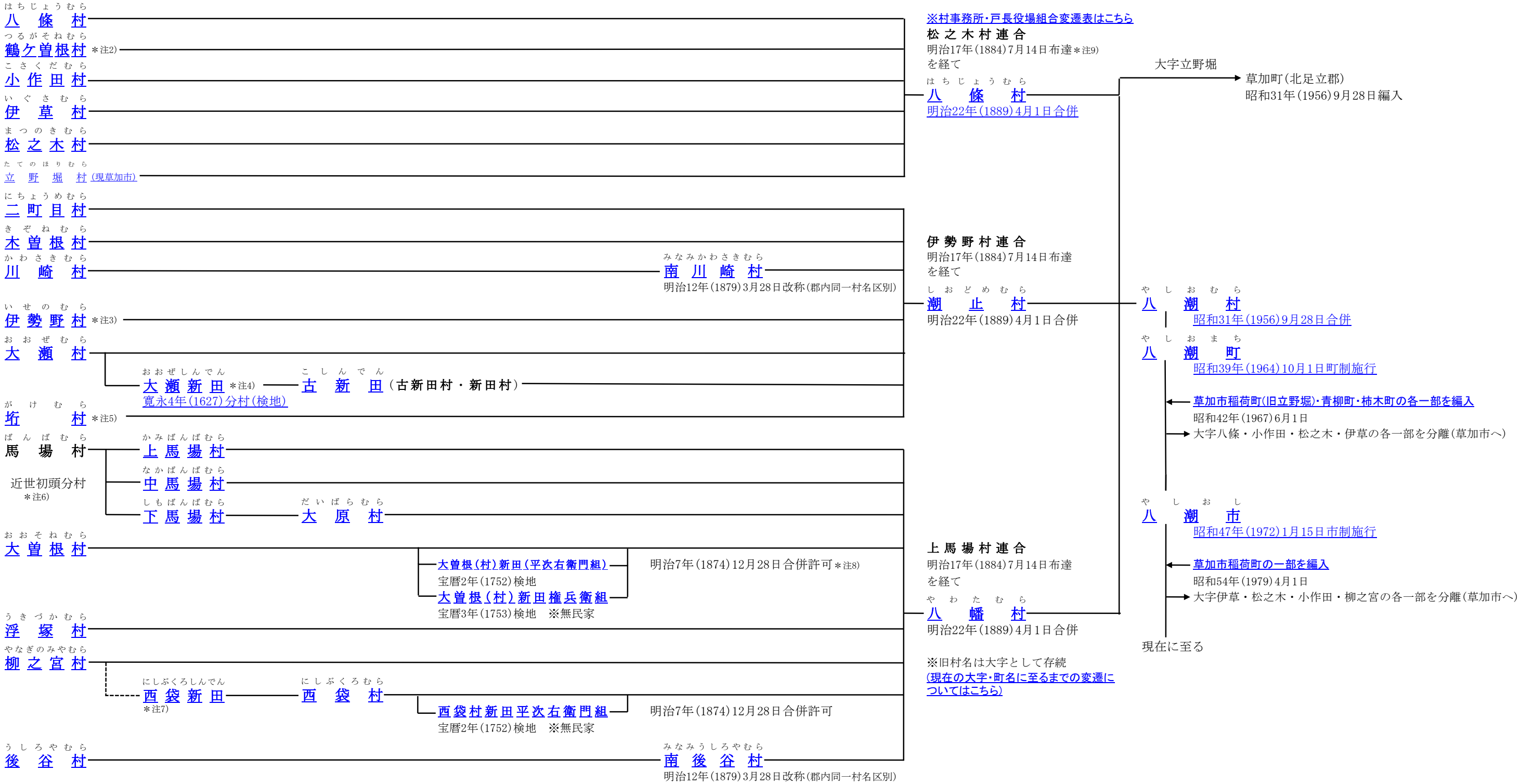
武蔵国
埼玉郡(初期は騎西郡)
[八條領\(下郷22か村のうち20か村\)](#)
[幕領\(代官\)・旗本領等\(後期\)](#)
慶安2年(1649)~3年作成「武蔵田園簿」記載の市域は20か村*注1)
※同史料等にもみる村名表記・石高変遷表は[こちら\(PDF\)](#)

近代

慶応4年(明治元、1868)7月10日、武蔵知県事管轄
明治2年(1869)正月13日、小管県(小菅県時代の戸籍区は第8区)
[明治4年\(1871\)11月14日、埼玉県](#)
明治5年(1872)3月、埼玉県第1区
明治12年(1879)3月17日、南埼玉郡(区制廃止)

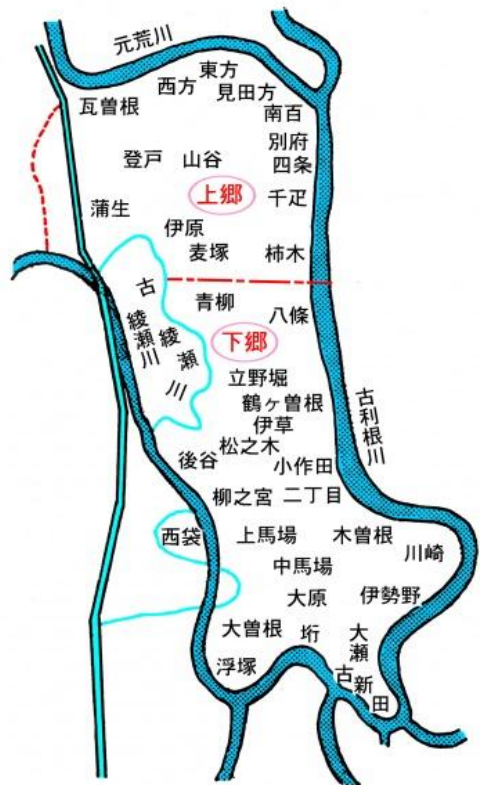
現代

市制施行に至るまで南埼玉郡

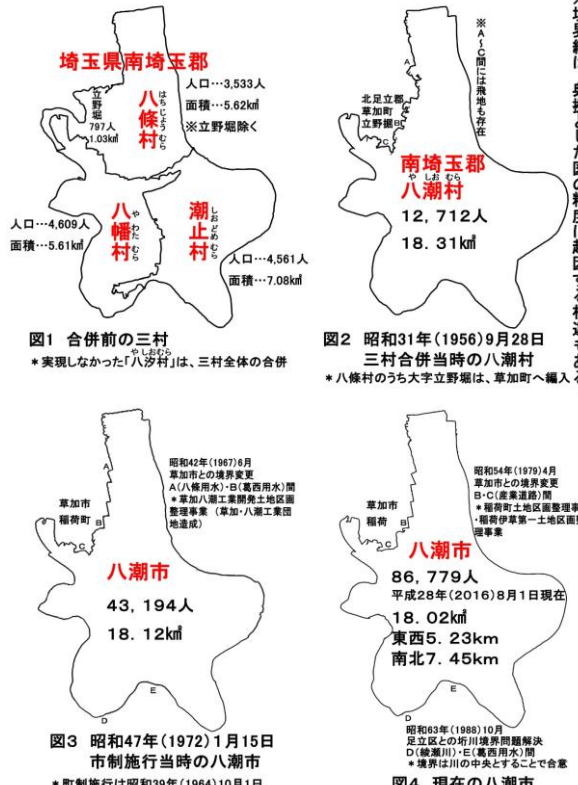


【注】

- 1) 天正から慶長年中(1573～1615年)にはぼ市域の近世村落が成立したとされる(『川に抱かれて』213ページ)。
- 2) 鶴ヶ曾根村は、近世初頭に分村した村であるとする説が存在する(『八潮市史 民俗編』139ページ)。
※鶴ヶ曾根は中世地名(河間)。中世の河間についてはこちら
- 3) 伊勢野村は、慶長17年(1612)頃の検地を機に大瀬村より分村したとする説がある(『八潮市の文化財』第2号10ページ)。
- 4) 古新田は、分村した当時は「大瀬新田」と称したとする説と、分村当時より「古新田」と称した(「大瀬新田」は分村前の呼称)とする説がある。
- 5) 圀村は、近世初頭に大瀬村より分村したとする説がある(『広報やしお』第574号)。
- 6) 慶長5年(1600)10月10日の上馬場村(「かみはんは」)年貢割付状(『平成2年度特別展解説 関東郡代伊奈氏文書展』32ページ)や同年(1603)10月12日の中馬場村(「中はんは」)年貢割付状(『八潮市史 史料編 近世Ⅰ』史料2)が残されている。
- 7) 西袋村は、古くは「柳之宮村西袋新田」と称し、寛永4年(1627)に柳之宮村より分村したとする説がある(『広報やしお』第526号)が、享和元年(1801)9月初稿・文化11年(1814)8月校定「西袋村百姓家譜序」(『八潮市史 史料編近世Ⅱ』史料34)には、「西袋村之義ハ(中略一引用者注、以下同)開発も近村より格別遅く、天正・慶長(1573～1615年)之頃、干上場所へ百姓六軒出来、西ノ袋新田と名附、慶長拾七年(1612)ニ御検地入(中略)寛永四(1627年)卯御検地(中略)元禄八亥(1695年)御検地(中略)其初より名目西袋と相改り」と記載されている。なお、「正保年中(1644～48年)改定図」(『新編武蔵風土記稿』)・慶安2年(1649)～3年作成「武蔵田園簿」ともに「西袋村」とあり、元禄8年(1695)5月の訴状(柳之宮村との境界争論、『八潮市史 史料編近世Ⅰ』史料48)には、「此度西袋新田御検地御入被遊」と記載されている。
- 8) 明治7年(1874)12月、埼玉県庁は内務省に合併を申請し、同月28日付で許可されている(『八潮市史 近代史料編Ⅰ』史料43)。なお、「管轄沿革考」(『埼玉県史料叢書5 埼玉県史料五』)は、合併の日付を翌8年(1875)1月1日としている。
- 9) 明治17年(1884)7月14日埼玉県甲第43号にて県内の戸長役場位置・所轄町村の改定が布達され、同日甲第44号にて数町村連合の戸長役場は役場位置の町村名を用い「某連合戸長役場」と称することが布達された(『現行類輯埼玉県達全書』)。



八條領の近世村落図
出典:『Kinsei-sonraku.jpg』



八潮市の成立と境界変更(八潮市域確定)の図
出典:『Yashiomuranoseiritsu-kyokaihenko.jpg』

※境界線は、典拠とした図の精度に起因する相違もある。

※このファイルの履歴等については、「ファイル:Yashio enkaku.pdf」参照

【参考文献】

※カテゴリ(分野別索引)の「参考文献・史料」はこちら

- 『八潮市史』等
- ・『八潮市史 通史編Ⅰ・Ⅱ』(八潮市役所、1989年)
- ・『八潮市史 史料編 近世Ⅰ・Ⅱ』(八潮市役所、1984・87年)
- ・『八潮市史 史料編 近代Ⅰ・Ⅲ』(八潮市役所、1981・82年)
- ・『八潮市史 史料編 現代Ⅰ』(八潮市役所、1985年)
- ・『八潮市史 史料編 別巻潮止月報・八潮だより』(八潮市役所、1979年)
- ・『八潮市史 民俗編』(八潮市役所、1985年)
- ・『八潮市近代史年表』(八潮市役所、1977年)
- ・『八潮市史調査報告書2・5・6 八潮の民俗資料 1～3』(八潮市役所、1980・82・83年)
- ・八潮市史編さん委員会編『川に抱かれて―八潮の歴史アルバム―』(八潮市立資料館、1994年)
- ・八潮市立資料館協議会編『八潮のふるさと新書1 小澤豊功』(八潮市、2001年)
- ・『八潮市史調査報告書3 八潮の行政文書目録 庶務・行政・財務編』(八潮市役所、1980年)
- ・『八潮市史調査報告書11 八潮の諸家文書目録1 大瀬高橋家文書』(八潮市役所、1985年)
- ・萩原龍夫「八潮市域の近世村落概況」(『八潮市史研究』創刊号、1978年)
- ・渡辺隆喜「市町村制の施行と八潮地域」(『八潮市史研究』第2号、1980年)
- ・木村礎「近世の村」(『八潮市史研究』第6号、1987年)
- ・吉本富男「埼玉県内の地方自治の推進者たち」(『八潮市史研究』第11号、1992年)□
- ・石山秀和「関東農村にみる寺子屋の意義―武蔵国埼玉郡八条領西袋村の場合―」(『八潮市史研究』第15号、1994年)
- ・八潮市教育委員会編集発行『八潮市の文化財』第2号(1986年)
- ・教育総務部文化財保護課企画・編集『八潮市の文化財ガイド』(八潮市教育委員会、2009年)
- ・『八潮市制施行20周年記念事業 第4回企画展 近代地方自治展』(八潮市立資料館、1991年)
- ・『第18回企画展 記録～二十世紀の証言～』(八潮市立資料館、2000年)
- ・八潮市立資料館編集発行『第22回企画展図録 八潮が生まれた日』(2009年)
- ・『開館20周年記念企画展 まちの履歴書―資料と写真でつづる八潮のあゆみ―』(八潮市立資料館、2009年)
- ・八潮市立資料館編集発行『第36回企画展 八潮の歩き方～移りゆく景観、変わりゆく八潮～』(2016年) □

その他

- ・『広報やしお』(「郷土の歴史」)
- ・埼玉県地方課編著『埼玉県市町村合併史 上・下巻』(埼玉県自治研究会、1960・62年)
- ・『埼玉県市町村誌 第2・17・20巻』(埼玉県教育委員会、1972・79・80年)
- ・小野文雄監修『日本歴史地名大系 第11巻 埼玉県の地名』(平凡社、1993年)
- ・『角川日本地名大辞典』編纂委員会編『角川日本地名大辞典 11 埼玉県』(角川書店、1980年)
- ・『埼玉大百科事典 1～5』(埼玉新聞社、1974～75年)
- ・埼玉県編集発行『新編埼玉県史 資料編19 近代・現代1 政治・行政1』(1988年)
- ・埼玉県史編さん室編『埼玉県史料叢書1 埼玉県史料一』(埼玉県県政情報資料室、1994年)
- ・埼玉県教育委員会編『埼玉県史料叢書5 埼玉県史料五』(埼玉県、2001年)
- ・埼玉県教育委員会編『埼玉県史料叢書18 埼玉県布達集二』(埼玉県、2016年)
- ・『平成2年度特別展解説 関東郡代伊奈氏文書展』(埼玉県立文書館、1990年)
- ・小澤正弘著発行『関東郡代伊奈氏の研究2』(2009年)
- ・工藤航平「近世後期の葛西用水八条領組合の組織的変遷と地域意識」(『文書館紀要』第19号、埼玉県立文書館、2006年)
- ・北島正元校訂『日本史料選書15 武蔵田園簿』(近藤出版社、1977年)
- ・蘆田伊人編集校訂・根本誠二補訂『大日本地誌大系16 新編武蔵風土記稿 第10巻』(雄山閣、1996年)
- ・福井保解題『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55・56巻 天保郷帳(一)・天保郷帳(二) 附元禄郷帳』(汲古書院、1984年)
- ・「天保国絵図」(国立公文書館デジタルアーカイブ <<http://digital.archives.go.jp/>>)
- ・木村礎校訂『日本史料選書3 旧高旧領取調帳 関東編』(近藤出版社、1969年)
- ・埼玉県編『武蔵国郡村誌 第11巻』(埼玉県立図書館、1954年)
- ・埼玉県総務課員伊藤直・島崎広太郎・野村定長編『現行類輯埼玉県達全書』(埼玉県総務課、1886年)
- ・明治22年(1889)3月23日県令甲第7号「町村区域名称改定ノ件」(『県報』第302号、埼玉県)
- ・昭和31年(1956)9月28日総理府告示第461号「町村の廃置分合」(『官報』第8928号)
- ・昭和39年(1964)8月25日自治省告示第97号「村を町とする処分」(『官報』第11310号)
- ・昭和42年(1967)5月18日自治省告示第100号「市町の境界変更」(『官報』第12124号)
- ・昭和47年(1972)1月10日自治省告示第1号「町を市とする処分」(『官報』第13513号)
- ・昭和54年(1979)3月28日自治省告示第75号「市の境界変更」(『官報』第15656号)